

# 平成26年度 3R活動推進フォーラム事業報告

## I 組織運営

### 1. 理事会・総会

理事会・総会を平成26年5月23日（金）に法曹会館（東京都千代田区霞が関 1-1-1）で開催し、①平成25年度事業報告及び収支決算②平成26年度事業計画及び収支予算について議決した。

### 2. 企画・運営委員会

平成26年度企画・運営委員会を平成27年3月23日（月）に（公財）廃棄物・3R研究財団会議室で開催し、平成26年度事業報告（案）、平成27年度事業計画（案）等について御意見をいただいた。

## II 会員の強化・拡充

### 1. 取組

- ①平成26年6月30日（月）の環境省主催の全国廃棄物・リサイクル行政主管課長会議資料に3R活動推進フォーラムの紹介及び入会案内を掲載していただいた。
- ②平成27年1月28日（水）の環境省主催の全国都道府県及び政令指定都市等環境担当部局長会議資料に3R活動推進フォーラムへの協力をお願いを掲載していただいた。
- ③未入会団体等には、メルマガ「3R・廃棄物ニュース」を配信するなど、広報に努めた。

### 2. 入会状況

平成26年度には、新たに1団体が入会し、会員は123団体（平成27年3月31日現在）となった。新たに入会したのは、北九州市である。（会員名簿：資料3）

## III 3R推進全国大会関連事業

### 1. 第9回3R推進全国大会の開催

「第9回3R推進全国大会（以下、「3R推進全国大会」という。）」を平成26年10月29日（水）13時15分～17時15分に環境省、環境省関東地方環境事務所、相模原市と共に、相模原市杜のホールで開催した。なお、運営は（公財）廃棄物・3R研究財団と（株）ダイナックス都市環境研究所が行った。

#### （1）第9回3R推進全国大会

□開催日：平成26年10月29日（水）

□会場：相模原市杜のホール（相模原市緑区橋本3-28-1 ミウヰ橋本7・8F）

□入場者数：338名

□プログラム

【第1部】記念式典

- ・主催者挨拶 小里泰弘環境副大臣、加山俊夫相模原市長、細田衛士3R活動推進フォーラム会長
- ・来賓挨拶 須田毅相模原市議会議長
- ・表彰式 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰（8企業、7団体、1個人）  
3R促進ポスターコンクール表彰（最優秀賞 小学生低学年・中学年・高学年の各1名ずつ、計3名、中学生1名）

【第2部】記念シンポジウム

- ・基調講演「循環型社会の道筋を展望する」  
講師：慶應義塾大学経済学部教授 細田衛士氏
- ・特別講演「3Rとエコライフを楽しもう」  
講師：シンガーソングライター（環境省3R推進マイスター） 白井貴子氏
- ・特別発表「3Rを推進する元気な市民リーダーによる3R劇場」  
発表者：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネットと相模原市の次世代3R市民リーダーの皆さん
- ・パネルディスカッション「食べ物の“もったいない”を考えよう」  
コーディネーター NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長・3R活動推進フォーラム副会長 崎田裕子氏  
パネラー 前相模原市廃棄物減量等推進審議会委員 宮崎由美子氏  
プライムデリカ株式会社取締役 加藤幸作氏  
株式会社日本フードエコロジーセンター代表取締役 高橋巧一氏  
相模原市環境経済局資源循環部参事兼廃棄物政策課長 菅谷一夫氏  
環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室長 庄子真憲氏

(2) 関連イベント

①施設見学

大会当日の午前、3つのコースで施設見学を実施し、参加者は終了後大会に参加した。

□日時：平成26年10月29日（水）9：00～12：00

□見学施設

- ・Aコース 株式会社日本フードエコロジーセンター（相模原市内） 28名
- ・Bコース ノジマメガソーラーパーク（相模原市内） 22名
- ・Cコース 相模原市南清掃工場（相模原市内） 27名

②3R推進展示コーナー

相模原市の市制施行60周年記念展示を始め主催者による展示、3R推進団体連絡会の8団体、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、持続可能な社会をつくる元気ネット、WE21ジャパン、セカンドハーベスト・ジャパン等

③相模原市リサイクルフェア2014

#### ④環境省関東地方環境事務所による第9回3R推進関東地方大会

## 2. 平成26年度3R促進ポスターコンクールの実施

環境省と共催で平成26年度3R促進ポスターコンクールを、以下のように実施した。

□募集期間 平成26年6月2日（月）～9月12日（金）

□応募数 小学生低学年の部（1～2年生） 875点  
小学生中学年の部（3～4年生） 2,601点  
小学生高学年の部（5～6年生） 3,581点  
中学生の部 3,232点  
合 計 10,289点

□選考 ・第一次審査委員会 平成26年9月29日（月）（公財）廃棄物・3R研究財団  
・第二次審査委員会 平成26年10月2日（木）法曹会館3階富士の間

□入賞 各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点、4部門計56点を選定

□表彰 平成26年10月29日（水）開催の3R推進全国大会式典で各部門の最優秀賞4名を表彰した。その他の入賞者には賞状を送付した。

## 3. 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰の推薦

環境省が実施する循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰に対して、3R活動推進フォーラムでは、平成18年度から循環型社会の形成について顕著な成果を上げている個人、企業又は団体について会員団体から推薦を受け、環境省に対して推薦を行っている。

平成26年度は、企業3件を推薦し、入賞した。

表彰式は、第9回3R推進全国大会式典の席で行われ、全体で8企業、7団体、1個人が受賞した。

### 【3R活動推進フォーラム推薦の受賞者】

<企業> 因幡環境整備株式会社（一般社団法人全国清掃事業連合会推薦）  
サントリー食品インターナショナル株式会社（一般社団法人全国清涼飲料工業会推薦）  
株式会社ヤクルト本社（一般社団法人全国清涼飲料工業会推薦）

## IV 連携・協働事業

### 1. 循環型社会形成推進セミナー等の開催

会員団体等との連携セミナー等を13回にわたって開催した。

#### （1）環境省等との共催

①平成26年10月16日（木）14:00～16:00

□名称：資源リサイクルフォーラム

□主催：環境省、静岡県、静岡県環境衛生自治推進協会連合会、  
3R活動推進フォーラム

□会場：静岡市民文化会館 中ホール

□内容：・講演「我が社の環境への取組み」浜松ホトニクス株式会社

・事例発表「地域と共に楽しみながらエコ活動～地域資源を再認識する中から見えるエコ活動と食育～」ハートフルダイニングおんふらんす

・特別講演「エコとエスパルスと私～サッカーにおける3R活動～」  
清水エスパルスアンバサダー 齊藤俊秀氏

②平成27年1月15日（木）13：00～16：00

□名称：循環・3Rフォーラム～食品ロスと食品廃棄物の削減に向けて～

□主催：環境省、東京都、3R活動推進フォーラム

□会場：国際ファッションセンター（KFC）2階ホール

□内容：

<第1部>

・基調講演「食品循環資源の利用状況と食品ロス削減の取組について」  
環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室長

庄子真憲氏

<第2部>事例発表

・事例発表1「世田谷区での食品ロス削減に向けた取組み」

世田谷区清掃・リサイクル部事業課普及啓発担当

阿部浩司氏

・事例発表2「食品リサイクルの手法と事業紹介」

株式会社日本フードエコロジーセンター代表取締役

高橋巧一氏

・事例発表3「フードバンク活動とその役割」

株式会社廃棄物工学研究所（フードバンク岡山）主任研究員 石坂 薫氏

・事例発表4「食品廃棄物の発生抑制とリサイクルの取組み」

株式会社エコス 秘書室長

境憲一郎氏

③平成27年2月3日（火）13：30～16：30

□名称：循環・3Rセミナー～信頼とリサイクルで実現するリサイクルの輪～

□主催：環境省、相模原市、3R活動推進フォーラム

□会場：相模女子大学グリーンホール「多目的ホール」

□内容：

<第1部>「地域づくりから学ぶ連携・協働の事例」

・基調講演「循環・3Rの今後の動向」

環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室室長補佐

櫻井義夫氏

<第2部>事例発表

・事例発表1「小型家電リサイクル法に基づく相模原市の取組」

相模原市資源循環部資源循環推進課担当課長

井上康臣氏

・事例発表2「神奈川県における小型家電リサイクル推進の取組」

神奈川県環境農政局環境部資源循環課グループリーダー 樋口泰久氏

・事例発表3「小型家電リサイクルの諸相」

株式会社リーテムP I 事業推進部チームリーダー 菅間智義氏  
<第3部> 100人パネル討論会  
ファシリテーター  
株式会社ダイナックス都市環境研究所所長 山本耕平氏  
ナビゲーター 講演者・事例発表者

④平成27年2月9日(月) 13:00～16:10

□名称：循環・3Rシンポジウム「食品ロスと食品廃棄物の削減に向けて」

□主催：環境省、福井県、3R活動推進フォーラム

□会場：福井市地域交流プラザ研修室601ABC

□内容：

<第1部> 基調講演

「食品循環資源の利用状況と食品ロス削減の取組」

環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室長

庄子真憲氏

<第2部> 話題提供

・話題1 「福井県における食品ロス、食品廃棄物の現状」

福井県安全環境部循環社会推進課資源循環グループ主任

河寄昭子氏

・話題2 「循環型社会づくりにおける主体間連携等について」

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

崎田裕子氏

・話題3 「食品ループの現状と今後の課題」

ユニー株式会社業務本部環境社会貢献部長

百瀬則子氏

・話題4 「食品関連廃棄物の削減に向けて」

福井県民生活協同組合組織NW支援部課長

高井健史氏

<第3部> パネルディスカッション

コーディネーター

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

崎田裕子氏

パネリスト：講師、話題提供者

⑤平成27年2月12日(木) 13:00～16:35

□名称：循環・3Rシンポジウム

～資源循環や廃棄物のCO<sub>2</sub>削減について考える～

□主催：環境省、NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット、3R活動推進フォーラム

□共催：さいたま市

□会場：さいたま市浦和コミュニティセンター 第15集会室

□内容：

<第1部> 基調講演「各リサイクル法の今後の動向」

環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室長 庄子真憲氏

<第2部> 話題提供「3R行動の見える化ツールの活用や地域活動事例等」

・話題1 「市民、事業者、行政の連携による食や資源のエコライフ」

- NPO法人川口市民環境会議代表理事 浅羽理恵氏
- ・話題2 「リユース食器使用によるCO2削減」
  - NPO法人スペース・ふう理事長 永井寛子氏
  - ・話題3 「雑紙の資源化による可燃ごみの削減」
  - 熱海市市民生活部協働環境課生活環境室長 山田賢二氏
  - ・話題4 「さいたま市におけるごみ減量化の現状と課題」
  - さいたま市環境局資源循環推進部資源循環政策課長 島村和久氏
- <第3部>パネルディスカッション「資源循環やCO2削減について」
- コーディネーター：
- NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 崎田裕子氏
- パネラー： 講師、話題提供者

⑥平成27年3月11日（水）13：00～16：00

□名称：循環・3R推進セミナー

～循環・3Rの社会形成に向けて、廃棄物のもったいないを考える～

□主催：環境省、和歌山県、3R活動推進フォーラム

□会場：和歌山県自治会館 2階大会議室

□内容：

<第I部> 基調講演

「循環・3R推進とリサイクル関連法の動向」

環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室（併任循環型社会推進室）室長補佐 谷貝雄三氏

<第II部> 事例発表

・事例発表1 「つれもて分別ごみ減量～美しい海・山・川の城下町わかやま～」

和歌山市市民環境局環境事業部一般廃棄物課企画班長 川原真己子氏

・事例発表2 「もったいない～この和歌山の環境を未来に引き継ぐために～」

ふるさと倶楽部会長 白井忠氏

・事例発表3 「リユースびんの大和茶（と、わ（to wa）」

World Seed代表理事 岡見厚志氏

・事例発表4 「3R推進と主体間連携の強化」

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長 鬼沢良子氏

(2) 3R活動推進フォーラムの自主事業による共催

①平成26年8月1日（金）13：00～16：40

□名称：循環・3Rシンポジウム～信頼と連携で共創する地域循環圏～

□主催：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット、3R活動推進フォーラム

□会場：日比谷図書文化館 小ホール

□内容：

<第1部> 基調講演

「循環型社会の形成に向けてー小型家電と食品リサイクル等ー」

環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室長

庄子真憲氏

<第2部>話題提供

話題1 「横浜市における小型家電リサイクル」

横浜市資源循環局業務課 分別・リサイクル推進担当係長 佐々井正泰氏

話題2 「松本市における食品ロス削減の取り組み」

松本市市民環境部環境政策課 課長補佐 羽田野雅司氏

話題3 「神戸市環境共栄事業協同組合による食品リサイクルの新しい取り組み」

神戸市環境共栄事業協同組合 専務理事兼事務局長 澤田弘氏

<第3部>シンポジウム・参加者交流

コーディネーター：3R活動推進フォーラム副会長、NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 崎田裕子氏

パネリスト：講師、話題提供者

②平成26年9月5日（金）13：10～16：20

□名称：平成26年度公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R活動推進フォーラム年次報告会

□主催：公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R活動推進フォーラム

□会場：江戸東京博物館 会議室

□内容：

特別講演「廃棄物・リサイクル行政の現状と課題について」

環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長 和田篤也氏

調査研究概要報告

①「災害廃棄物対策指針の策定」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 上席研究員 河村栄作氏

②「災害廃棄物処理等に関する情報プラットフォーム構築及び災害時マネジメント力向上方策」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 特別研究員 森朋子氏

③「地域防災拠点となる廃棄物処理施設におけるエネルギー供給方策」

前(公財) 廃棄物・3R研究財団 統括研究員  
現日本環境安全事業(株) 事業部長 東幸毅氏

④「総合的な2Rシステムの構築に向けた調査・検討」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 上席研究員 夏目吉行氏

⑤「家庭系有害廃棄物(HHW)の現状把握と回収システム構築のための研究」

(公財) 廃棄物・3R研究財団 調査部長 藤波博氏

⑥「RDFの現状と課題」

(公財) 廃棄物・3R研究財団客員研究員 渡辺洋一氏

総括

(公財) 廃棄物・3R研究財団理事長 田中勝氏

(3) 3R推進団体連絡会との意見交換会共催

□名称：容器包装の3Rに関する市民・自治体等との意見交換会

□主催：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

①第1回 平成26年7月25日（金）13：00～16：45

□会場：JA長野県ビル 12階A会議室

□内容：

<第1部>基調講演・事例発表

- ・基調講演 関東学院大学教授 織朱實氏
- ・事例1 長野県環境部資源循環推進課廃棄物政策係 神林純也氏
- ・事例2 長野市環境部生活環境課係長 上原和久氏
- ・事例3 上田市エコ・サポート21 環境カウンセラー 栗田たか子氏
- ・事例4 3R推進団体連絡会 幹事 久保直紀氏

<第2部>グループ討論

- ・3つのワーキンググループによる意見交換
- ・全体総括（グループ報告、全体報告）

②第2回 平成26年11月7日（金）13：00～16：45

□会場：ひめぎんホール本館6階会議室

□内容：

<第1部>事例発表

- ・事例1 愛媛県県民環境部環境局循環型社会推進課 主幹 大西亮一氏
- ・事例2 松山市環境部清掃課 副主幹 平田正次郎氏
- ・事例3 NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長 鬼沢良子氏
- ・事例4 まつやまRe・再来館（りっくる） 館長 吉田啓二氏
- ・事例5 3R推進団体連絡会 幹事 加藤稔氏

<第2部>グループ討論

- ・3つのワーキンググループによる意見交換
- ・全体総括（グループ報告、全体報告）

③第3回 平成27年2月20日（金）13：00～16：45

□会場：名古屋国際センター別館ホール

□内容：

<第1部>事例発表

- ・事例1 名古屋市環境局ごみ減量部資源化推進室主査 笠本友作氏
- ・事例2 大垣市環境市民会議 事務局次長 奥田陽子氏
- ・事例3 あいちゴミ仲間ネットワーク会議代表 岩月宏子氏
- ・事例4 3R推進団体連絡会 幹事 久保直紀氏

<第2部>グループ討論

- ・3つのワーキンググループによる意見交換
- ・全体総括（グループ報告、全体報告）

## 2. 3R推進地方大会への協力

各地方環境事務所が中心となって開催する3R推進地方大会に対して後援等の協力を行

うとともに、積極的にPRした。

- ①平成26年度3R推進北海道大会  
平成27年2月21日（土）札幌市内
- ②3R推進東北大会 in せんだい2014  
平成26年9月7日（日）仙台市内
- ③第9回3R推進関東大会  
平成26年10月19日（日）相模原市内  
平成26年10月29日（水）相模原市内

### 3. その他の後援・協賛等

#### （1）後援

- ①第9回容器包装3R推進フォーラム
  - ・主催：3R推進団体連絡会
  - ・開催期日・場所：平成26年12月15日（月）～16日（火）都内
- ②建設副産物リサイクル広報ポスター
  - ・実施主体：建設副産物リサイクル広報推進会議
  - ・掲出期間：平成26年10月1日～平成27年9月30日
- ③2014建設リサイクル技術発表会・技術展示会
  - ・主催：建設副産物リサイクル広報推進会議中国地方建設副産物対策連絡委員会
  - ・開催期日：平成26年11月21日（金）

#### （2）協賛

- ①平成26年度環境衛生週間
  - ・主唱：環境省、都道府県及び市町村
  - ・期間：平成26年9月24日～10月1日
- ②第13回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」
  - ・主催：（公社）全国産業廃棄物連合会、（公財）日本産業廃棄物処理振興センター  
（公財）産業廃棄物処理事業振興財団
  - ・開催期日・場所：平成26年11月7日（金）盛岡市内

#### （3）協力

- ①平成26年度「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」
  - ・実施主体：環境省、内閣府、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省他  
関係省庁、都道府県等
  - ・期間：平成26年5月30日（金）～6月5日（木）
- ②第7回3R・低炭素社会検定
  - ・主催：3R・低炭素社会検定実行委員会
  - ・試験日：平成27年1月11日（日）

#### （4）講師派遣

3 R・低炭素社会検定講習会講師（3 R・低炭素社会検定実行委員会主催）

・平成26年11月16日（日）（一社）地球温暖化防止全国ネット会議室

・平成26年11月29日（土）（一社）地球温暖化防止全国ネット会議室

（5）参加

散乱防止美化キャンペーン（スチール缶リサイクル協会主催）

・平成26年7月12日（土）栃木県日光市内及び宇都宮市内

・平成26年11月1日（土）静岡県裾野市内

## V 広報普及活動

### 1. 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

循環型社会の構築に向けて、国民一人ひとりの環境についての理解を深めるとともに、循環に配慮した持続可能なライフスタイルへの変革を促すことを目的として、毎年、10月の3R推進月間に環境省、経済産業省とともに「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施を都道府県、流通事業者に呼びかけており、平成26年度は、47都道府県、49事業者（56,218店舗）で実施された。

### 2. 展示会への出展

（1）エコライフ・フェア2014

開催日：平成26年6月7日（土）～8日（日）

会場：都立代々木公園

（2）相模原市リサイクルフェア2014

開催日：平成26年10月19日（日）

会場：相模原麻溝公園

（3）平成26年度（公社）全国都市清掃会議秋季評議員会展示コーナー

開催日：平成26年10月23日（木）

会場：長岡グランドホテル2階ロビー

### 3. 出版物等の発行

（1）2014年次報告書作成

3R活動推進フォーラムの平成25年度の事業を中心に報告書を作成、ホームページに掲載し、会員、都道府県等関係先に案内した。

（2）平成26年度「環境にやさしい買い物キャンペーン」実施報告書の作成

環境省、経済産業省と「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施、都道府県及び流通事業者の実施報告書を作成、全国都道府県、流通事業者等に送付した。

（3）3R活動先進事例集2014の作成

平成26年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰受賞者の取組をまとめた3R先進活動事例集を作成し、都道府県、会員等に送付した。

（4）その他

・3R推進月間用ポスターの作成

平成26年度3R促進ポスターコンクール入賞作品をデザインした2種類の3R推進月間用のポスターデータを作成し、希望者に提供した。

#### 4. インターネットを活用した情報発信

(1) ホームページによる情報発信

ホームページに各種お知らせ、開催イベントの様態及び関連資料、発行済みの機関誌・メルマガ等を掲載した。

(2) メルマガ「3R・廃棄物ニュース」の配信

関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月3回配信した。

(3) 3R活動推進フォーラム事務局通信の配信

会員向けに事務局の業務報告などを事務局通信として4回配信した。

#### 5. 新聞・雑誌等における記事・広告掲載等

(1) 記事

①日刊工業新聞

平成26年10月10日（第9回3R推進全国大会告知）

②環境新聞

平成26年10月29日3R推進月間特集（第9回3R推進全国大会告知）

平成26年11月5日3R推進全国大会開催

③ウェイストマネジメント

平成26年10月25日（第9回3R推進全国大会告知）

平成26年11月5日3R推進全国大会開催

④月刊廃棄物

平成26年12月号3R推進全国大会開催

⑤月刊ウェイスト・リサーチ

平成26年12月号3R推進全国大会開催

⑥環境情報

平成26年11月11日3R推進全国大会開催

(2) 広告

①神奈川新聞

平成26年10月13日付第9回3R推進全国大会突き出し広告

②環境新聞

平成26年10月22日付3R推進月間特集号企画5段1／2

平成27年1月1日環境新聞新年特別号名刺広告

③ウェイスト・マネジメント

平成26年10月25日付第9回3R推進全国大会特集連名広告

#### 6. ガイドラインに沿ったRマーク表示の普及促進

3R活動推進フォーラムでは、前身のごみ減量化推進国民会議が平成7年6月に定めた再生紙普及のためのRマーク（再生紙マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイ

ラインの表示方法等を併せて広報に努めた。

(1) ホームページでの普及啓発

Rマークのロゴをダウンロードできるようにするとともに、使用にあたっての留意事項等を掲載

(2) 問い合わせ

Rマークについて、掲載方法や掲載物等に関する電話はなどでの問い合わせ、教材などへの掲載方法についての問い合わせなどに対応した。

## VI 会員サービスの充実

### 1. 会員との連携・協働事業の実施

自治体、団体会員とセミナー等を開催した。

### 2. 情報の発信・共有化

(1) 会員のイベント情報等をメルマガで配信（前掲）

月3回配信しているメルマガ「3R・廃棄物ニュース」（前掲）に会員のイベント情報等を掲載した。

(2) 3R活動推進フォーラム事務局通信の配信（前掲）

事業の進捗状況や事務局の状況を会員に報告する事務局通信を配信した。

(3) ホームページの会員ページによる情報提供

①年次報告書2014版等をホームページ上に掲載した。

②ホームページの会員ページにおいて行政資料等会員向け情報を掲載した。

### 3. 会員割引料金による資料提供

(1) 平成26年9月5日（金）の公益財団法人廃棄物・3R研究財団との共催による年次報告会において、会員の資料代は2,000円で一般参加者は3,000円とした。

### 4. 3Rグッズ等の配布

(1) 3R推進月間用ポスターデータの配布

平成26年度3R促進ポスターコンクール入賞作品をデザインした3R推進月間用ポスター2種のデータを作成、10月の3R推進月間を中心に希望者に無料で配布した。

(2) クリアファイルの販売・配布

平成26年度3R促進ポスターコンクール最優秀作品をデザインしたクリアファイルを作成し、販売、3R啓発用に展示会等での配布を行った。